

Eco Action 21

2024年度環境経営レポート

目次

- 1 表紙及び目次・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- 2 組織の概要と対象範囲・・・・・・・・P 2
- 3 環境経営方針及び推進体制図・・・・・・・・P 3
- 4 環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・P 4
- 5 環境経営目標の実績・・・・・・・・・・・・P 5
- 6 環境経営計画の取組と結果の評価・・・・・・・・P 6
- 7 次年度の環境経営目標及び計画・・・・・・・・P 7
- 8 環境関連法規制の遵守状況・・・・・・・・P 8
- 9 代表者による全体評価と見直し・指示・・・・P 8

発行日 : 2025年4月3日

有限会社 新井製作所



2 組織の概要と対象範囲

【1】 事業所名及び代表者

有限会社 新井製作所

代表取締役 新井信一

【2】 所在地

群馬県高崎市吉井町小棚 5 2 5

【3】 事業の概要

* 事業内容 CNC機械から汎用機械を駆使し、少数ロットから量産品、あらゆる材質の加工をこなす製造業です。

【4】 事業規模

創立	昭和 3 8 年
設立	昭和 4 6 年
資本金	3 0 0 万円
従業員	2 4 名（パート・アルバイト含む）
敷地面積	4416㎡
延床面積	2206.14㎡

【5】 認証登録範囲及び対象期間

* 認証・登録範囲 ： 本社・工場全て

鉄道車輛部品

油圧装置部品

自動車部品

産業機器部品

楽器部品

* 対象期間 ： 2 0 2 4 年 3 月 1 日～2 0 2 5 年 2 月 2 8 日

【6】 環境管理責任者及び担当者

管理責任者 新井健二

環境事務局 柴崎さゆり

連絡先 TEL：027-388-3573 FAX：027-388-3582

e-Mail：arai-steel-craft@dan.wind.ne.jp

3 環境経営方針及び推進組織図（実施体制）

P 3 / 8

管理No : AEA-環-003

(有)新井製作所

環境経営方針

当社は、NC・MC精密部品の生産活動において、環境保全の重要性と、全ての事業活動が環境に影響を与えることを認識し、環境マネジメントシステムの維持と継続的改善を図り、顧客をはじめ地域社会から信頼される企業として貢献するため、社員一丸となって取り組む

活動方針

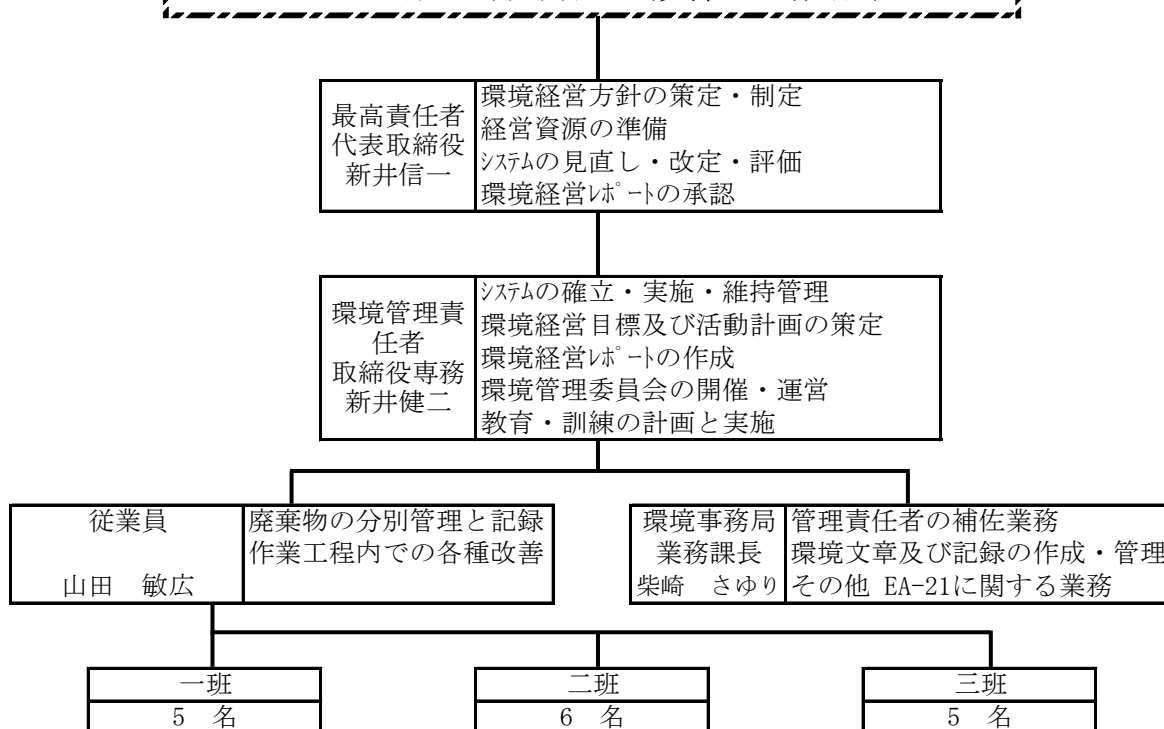
- 1 環境関連法規制に基づき、「環境汚染の予防と環境保全活動」を実施し
当社が約束したことを遵守します
- 2 生産活動に携わる全ての資源を大切に使い、省エネ・省資源活動を促進します
- 3 廃棄物排出量の削減に努め、3R活動による廃棄物の削減を推進します
- 4 当社が生産する製品の環境負荷の削減(不良品の削減)、及び生産活動全般で生じる廃棄物の削減に努めます
- 5 環境経営方針を全従業員に周知徹底し、環境活動の取り組みは、環境経営
レポートで公表し、向上を図ります

2018年9月30日

代表取締役 新井信一

配布先 : 事務所・工場内

EA21 推進体制図（責任と権限）



4 環境経営目標

P 4 / 8

24年度は、中長期の2年目にあたる年であった。

環境経営目標を以下のように定める

- 基準： 2020年度から2022年度平均実績値
- 削減目標： 原単位（売上高100万円当たり）として基準年に対して2%削減
水使用量は従業員数当たり原単位とし、基準年に対して2%削減
サービスに関しては個数で数える
- 管理目標： 毎月の排出量の管理をするため、各目標の内訳を実数での管理・比較を行う

【1】2024年度の環境経営目標

項目	単位	原単位 基準値	環境目標 基準値に対して		
			2023年度	2024年度	2025年度
			1%減	2%減	3%減
二酸化炭素総排出量	kg-CO2/百万円	555.4	549.8	544.3	538.7
廃棄物焼却処理	kg-CO2/百万円	5.7	5.6	5.6	5.5
水使用量	kg-CO2/人	10.2	10.1	10.0	9.9
サービス 不良の削減	個/百万円	9.7	9.6	9.5	9.4

排出係数：東京電力エナジーパートナー 0.408kg-CO2/kWh



本年度目標

【2】2024年度の管理目標



項目		単位	基準値	管理目標値		
				2023年度	2024年度	2025年度
				1%減	2%減	3%減
エネルギー 量 ギ ー 消 費	購入電力	kwh	288718.7	285831.5	282944.3	280057.1
	ガソリン	L	2873.2	2844.5	2815.7	2787.0
	軽油	L	369.5	365.8	362.1	358.4
	灯油	L	0.0	0.0	0.0	0.0
	ガス	kg	212.7	210.6	208.4	206.3
廃棄物 焼却 処 理	古紙	kg	246.8	244.3	241.9	239.4
	可燃ごみ	kg	486.1	481.2	476.4	471.5
	水溶性	kg	433.3	429.0	424.6	420.3
	油性	kg	233.3	231.0	228.6	226.3
	廃プラ	kg	30.4	30.1	29.8	29.5
ペットボトル廃棄量		kg	25.2	24.9	24.7	24.4
スチール缶廃棄量		kg	88.2	87.3	86.4	85.6
アルミ缶廃棄量		kg	8.7	8.6	8.5	8.4
水使用量		m ³	241.0	238.6	236.2	233.8
サービス 不良の削減		個	2607.0	2580.9	2554.9	2528.8

【1】 2024年度の環境経営目標 実績

項目	単位	2024年度			
		目標値	実績	増減率	結果
二酸化炭素排出量	kg-CO2	146954.8	119202.1	-18.9%	○
	kg-CO2/百万円	544.3	389.7	-28.4%	○
廃棄物焼却処理	kg-CO2/百万円	5.6	6.1	8.3%	✖
水使用量	kg-CO2/人	10.0	9.2	-7.7%	○
サービス 不良の削減	個/百万円	9.6	9.4	-2.0%	○

排出係数：東京電力エナジーパートナー 0.408kg-CO2/kWh

【2】 2024年度の管理目標 実績

項目		単位	2024年度			
			目標値	実績	増減率	結果
エネルギー消費	購入電力	kwh	282944.3	271057.0	-4.2%	○
	ガソリン	L	2815.7	3074.3	9.2%	✖
	軽油	L	362.1	433.3	19.7%	✖
	灯油	L	0.0	0.0	0.0%	○
	ガス	kg	208.4	172.4	-17.3%	○
廃棄物焼却処理	古紙	kg	241.9	192.3	-20.5%	○
	可燃ごみ	kg	476.4	466.7	-2.0%	○
	水溶性	kg	424.6	1400.0	229.7%	✖
	油性	kg	228.6	0.0	-100.0%	○
	廃プラ	kg	29.8	35.2	18.1%	✖
ペットボトル廃棄量		kg	24.7	29.4	19.0%	✖
スチール缶廃棄量		kg	86.4	73.4	-15.0%	○
アルミ缶廃棄量		kg	8.5	7.5	-11.8%	○
水使用量		m³	236.2	217.0	-8.1%	○
サービス 不良の削減		個	2554.9	2865.0	12.1%	✖

【3】 中長期の活動実績の結果

経営目標	項目		単位	2023年度
	二酸化炭素排出量		kg-CO2	○
			kg-CO2/百万円	○
	廃棄物焼却処理		kg-CO2/百万円	✖
	水使用量		kg-CO/人	✖
管理目標	項目		単位	2023年度
	エネルギー消費	購入電力	kwh	○
		ガソリン	L	✖
		軽油	L	○
		灯油	L	✖
		ガス	kg	○
	廃棄物焼却処理	古紙	kg	○
		可燃ごみ	kg	○
		水溶性	kg	✖
		油性	kg	✖
		廃プラ	kg	○
	ペットボトル廃棄量		kg	✖
	スチール缶廃棄量		kg	○
	アルミ缶廃棄量		kg	✖
	水使用量		m³	✖
	サービス 不良の削減		個	✖

【1】環境経営計画への取組

	取組み項目	取組み内容及び結果
二酸化炭素排出量	① 使用電力の削減	
	・ エアー漏れ箇所の改善	9 月に実施した結果 5 カ所。(バンド緩み除く)
	・ 冷暖房機器の適正温度管理	主に夏季の 6～9 と冬季の 3・12～2 実施
	② 灯油、軽油、ガソリン使用量削減	
	・ 納品の集約による回数の見直し	納品回数が多かった
産廃処理	・ 製品洗浄時の使用見直し	灯油購入ゼロ
	③ 可燃廃棄物・古紙紙クズの削減	
	・ 分別化によるリサイクル化	分別の徹底
	④ 産業廃棄物の削減	
	・ 水溶性、油性のキリ粉付着脱脂	数台の機械清掃実施。水溶性廃油排出。
リサイクル	・ 廃プラ廃棄	定期的にコンテナを処分
	⑤ 飲料関係の廃棄物	
	・ ペットボトル・スチール・アルミ缶	分別の徹底
	⑥ 生活用水の節水	
	・ 溜水の利用、節水の徹底化	
水使用量	⑦ 水溶性切削液の効率化	
	・ 切削油のキリコ付着の改善	一部機械で継続実施
サービス	⑨ 工程内不良の削減	
	・ 前工程のチェック	
	⑩ 5 S 活動の促進	
	・ 整理・整頓・清掃・清潔・躰	屋外清掃と屋内清掃実施
	⑪ 振動・騒音測定	騒音測定を 10 月に実施
自主活動	⑫ エアコン・コンプレッサ・洗浄機簡易点検	年 4 回点検実施
	⑬ 浄化槽保守点検	保守年 3 回、11 条 1 回実施。問題なし
	⑭ 法規制の確認	12 月に確認実施

【2】取組結果の評価

24 年度の管理目標達成項目数は、前年と殆ど変わらなかったが、売上が 10% ほど上昇した為、原単位での目標の達成数は、前年の 2 項目から 4 項目に増えた。

2 期を比較して、大幅に増えたのが水溶性の廃油だった。これは、数台の工作機械を清掃したため、水溶性の廃油が大量にでた。その他、ガソリンと軽油が増えたのは、納品回数や移動距離の増加による。

【1】2025年度の環境経営目標

項目	単位	原単位 基準値	2025年度
			3%減
二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	555.4	538.7
廃棄物焼却処理	kg-CO2/百万円	5.7	5.5
水使用量	kg-CO2/人	10.2	9.9
サービス 不良の削減	個/百万円	9.7	9.4

排出係数：東京電力エナジーパートナー 0.408kg-CO2/kWh

【2】2025年度の管理目標

項目		単位	基準値	2025年度
				3%減
エネルギー 量 ↓ 消費	購入電力	kwh	288718.7	280057.1
	ガソリン	L	2873.2	2787.0
	軽油	L	369.5	358.4
	灯油	L	0.0	0.0
	ガス	kg	212.7	206.3
廃棄物 焼却 処 理	古紙	kg	246.8	239.4
	可燃ごみ	kg	486.1	471.5
	水溶性	kg	433.3	420.3
	油性	kg	233.3	226.3
	廃プラ	kg	30.4	29.5
ペットボトル廃棄量		kg	25.2	24.4
スチール缶廃棄量		kg	88.2	85.6
アルミ缶廃棄量		kg	8.7	8.4
水使用量		m ³	241.0	233.8
サービス 不良の削減		個	2607.0	2528.8

【3】2025年度の環境経営計画

取組み項目			
二酸化炭素 排出	① 使用電力の削減	その他の自主活動等	⑧ 製品及びサービスに関する事項
	・ エアー漏れ箇所の改善		・ 工程内不良の削減
	・ 冷暖房機器の適正温度管理		⑨ 5 S 活動の促進
	・ 使用電力をデマンドで管理		・ 整理、整頓、清掃、清潔、躰
産廃 処理	② ガソリン、軽油、灯油、ガス使用量の削減		⑩ 騒音、振動 ・ 法規制法規制の確認
	③ 古紙、一般可燃物の削減		騒音振動測定 ・ 遵守状況
	④ 廃油・産業廃棄物の削減		⑪ エアコン・洗浄機・コンプレッサの自主点検
	・ 水溶性、油性の脱脂		・ 音・油にじみ・錆・キズ等確認
	・ プラスチックの廃棄抑制		⑫ 浄化槽保守点検及び11条検査
水 使用 量	⑤ 飲料関係の廃棄物		・ 浄化槽管理要領
	・ ペットボトル・スチール缶・アルミ缶の削減		⑬ 環境関連の朝礼
	⑥ 生活水の節水		・ 環境に関する内容
	・ 溜水の利用、節水の徹底化		
	⑦ 水溶性切削液の効率化		
	・ 水溶性油のキリ粉付着の脱脂		

【4】2025年度以降の中長期目標について
2023年度から2025年度平均実績値を基準として中長期目標を策定します。

8 環境関連法規制の遵守状況

法律・条例	遵守事項	記録名・報告名	遵守評価
浄化槽法	定期点検及び水質検査	契約書 保守点検記録 定期点検記録	○
騒音規制法	年一回の騒音測定 規制基準値の遵守 届出内容の変更の有無 追加設置の設備の有無	特定施設設置届出書	○
振動規制法	年一回の振動測定 規制基準値の遵守 届出内容の変更の有無 追加設置の設備の有無	特定施設設置届出書	○
消防法	取扱危険物の品目変更の有無 取扱危険物の数量変更の有無 消防設備の点検	緊急事態訓練記録 少量危険物定期点検表	○
フロン排出抑制法	点検の内容変更の有無 点検の項目変更の有無 設備の追加・入替え	自主点検実施 点検表に記録	○
廃棄物処理法	契約業者の違法行為の有無 マニフェストの保管	処理業者との契約書	○
PRTR法	年間使用量の把握	負荷の自己チェック	○

- ① 遵守評価の結果、環境関連法規制の違反、訴訟等はありませんでした。
- ② 過去3年間、関係当局からの違反等の指摘はありません。
- ③ 近隣地域の方からの苦情、指摘はありませんでした。
- ④ 労災申請のため、労働基準監督署に是正処置を提出しました。

9 代表者による全体評価と見直し及び指示

本年度の活動結果は、実績値で9/15項目、原単位では4/5項目が達成できた。
前年の目標、基準値に対し1%削減から、2%削減に掲げ活動した結果、達成項目が増えたのは、社員一丸となって、目標達成に向け活動した結果だと思う。

25年度は、中長期の最終年度にあたるため、更に目標値が厳しくなるが、24年度同様、目標達成に向け、一丸となって活動していく。

代表者の指示： 2025年3月31日

環境経営方針

環境経営目標・環境経営計画

実施体制

☒変更なし

☒変更なし

☒変更なし

☐変更する

☐変更すること

☐変更すること